



Link

特定非営利活動法人 リンク

人がつながる 地域がつながる 社会がつながる
つながりたい かけがえのないあなたと



新年ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

社会の交流が本格的に再開され、人と人・機関と機関の距離間も徐々に回復してきました。

しかし、2023年5月以前のコロナによる「制限の3年」は、交流を良しとしない風潮や孤立・孤独の増長をもたらしました。店頭では人々の交流は減少し、必要最低限の交流が良しとされ、祭りは延期されることも多くありました。一方でオンライン会議のように実際に会わなくても物事が進む機会も増えました。このような状況の中、地域社会で活動している当法人としては、この3年間の“交流の溝”を埋めていかなければいけないと考えています。

その最たる活動が、中核地域生活支援センターや生活困窮者自立支援事業であり、当法人が事務局・担当者として行う、地域のこころの居場所づくり事業の「ホッとステーション事業」、フードロス対策・SDGs活動の「フードバンクさんぶ」、子ども第三の居場所づくり事業の「スマイルキッズ」です。

「福祉の中」で福祉を語るだけでなく、より広いフィールドの「地域社会の中」で福祉を伝えていくことで、地域社会全体で少しでも交流の機会が増え、だれでも気軽に携われる活動を増やしていきたいと考えています。

皆様には、今後とも様々な当法人の活動へのご理解とご協力をお願い致します。

理事長 吉井 稔



フードバンクさんぶ

NEW



2023年4月にフードバンクさんぶが始動しました。

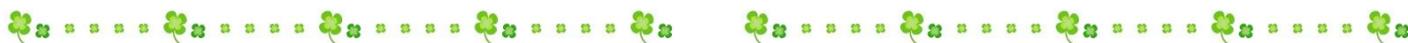
「無いものは創る」というコンセプトの一環として、「山武地域の物資供給の仕組みづくり」の一つであるフードバンク活動を本格的に開始しました。

主な活動内容はフードバンク活動、フードドライブ、フードパントリー、子ども支援団体へ物資配布の4点です。

基本方針は『地集地配』で、

- 1 「山武地域等のエリアで企業や個人からの支援物資の寄贈」を
- 2 「山武地域内等の必要な人へ提供する」ことをして
- 3 「食料の循環」を身近な地域で行うこととしています。

これから、地域の皆様のご支援をいただきながら活動していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いたします。(石井)



フードバンクさんぶ版フードドライブ

フードドライブは「もったいない」を「ありがとうへ」を合言葉に、ご家庭に眠っている食品を寄贈いただき、地域の福祉団体・施設や生活にお困りの方に配ります。

従来から連携しているフードバンクちばのフードドライブの実施期間（年3回）の合間を継ぐ形で、フードバンクさんぶとしての食品回収期間（プラス年3回）を設けております。受取窓口となる協力先さまも増えています。

第1回では474.6kgの寄贈品をいただきました。第2回も終了し、たくさんの食品をご寄付頂きました。次回は第3回となります。

期間：[第3回] 3月11日(月)～4月26日(金)

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（野島）



パルシステム千葉東金センターの予備青果

2023年4月から予備青果の活用が始まりました。

月に一度、パルシステム千葉東金センター様より配達仕分けなどで発生する予備分の青果を寄付して頂き、山武圏域内の子ども食堂（子どもの食支援等）実施団体にお届けしています。

物価高騰の折、実施団体の皆様に喜ばれています。（石井）



ファミマフードドライブ

フードバンクさんぶは、10月から、ファミリーマートが全国で展開している「ファミマフードドライブ」の協力パートナーになりました。

山武郡市内16のファミリーマート店舗に常時食品回収箱を設置しています。営業時間中はいつでも食品の寄贈を受け付けています。ファミリーマートでは匿名での受付になりますが、既に多くの方からご協力をいただき、2023年12月末現在9店舗で53.3kgの寄贈をいただきました。

お近くのファミリーマートで回収ボックスを見かけたら、是非ご協力ください。（野島）



「ホッとつながるフェスタ」2023 開催

ホッとステーション事業も 2 年目となりました。地域の居場所づくり等で協働していただける機関も 104 機関となり、活動の広がりを実感しているところです。

この度、第 2 回目となる「ホッとつながるフェスタ 2023」を開催しました。



今回のテーマは「食と居場所ですつながる地域づくりと SDGs」として、第 1 部では、千葉商科大学人間社会学部准教授小口広太様による「食でつながる地域づくりと居場所づくり」の講演をいただきました。『孤立を生まない豊かな社会をつくるためには、だれも取り残されないためのつながりが重要。こどもの今の貧困を断ち切ることで、将来の社会の貧困の脅威を減らせる。そのための手段の一つとして、食を通じた繋がりが重要である。また、食の第一生産現場である農業活動を通して、世代を越えた繋がりが提供できる。』とたいへん有意義なお話を伺いました。その後、地域のつながりと住民のチカラを創る活動の紹介、ホッとステーション・クールステーションの紹介、協働機関からの発表などでテーマを深めました。

第 2 部では会場を山武市役所駐車場に移し、市民の皆様を対象に、焼き芋、豚汁の提供をし、食を通してコミュニケーションが始まり、つながりが生まれることを実体験してもらいました。食品ロス削減の啓蒙、ホッとステーション活動の紹介、フードバンクさんぶ活動の周知を行い、たくさんの方に利用していただきました。(泉)



2023 年度第 2 回法人研修

令和 5 年 12 月 17 日に第 2 回目の「法人職員全体研修会」を行いました。



テーマは、「それって良いの、悪いの?～法的根拠から読み解く権利擁護～」という

内容で、講師には佐久間水月弁護士を招いて、日々の業務の中で権利擁護の視点を意識することの大切さや対利用者さん、対相談者さんへの接し方について、改めて立ち止まり、考える機会となりました。グループワークでもたくさんの方のシチュエーションから権利擁護の視点を学び、大変有意義な研修となりました。(小川)

2023 年度クリスマスふれあいミニコンサート

(横芝光町協力事業)

今年度も、まちなか広場えみふる～emifull～を会場に、町内小学生・中学生を対象に実施しました。年末最後の親子でも参加できるイベントということもあり、多くの親子が参加されました。クラシックからポップスと幅の広い曲目と素敵なトークで今年 1 年の良い締めくくりとなりました。終了後には、サンタからのプレゼントがあり、子どもも大人も大喜びでした。(赤堀)



2023 年度横芝光町ゲートキーパー養成講座

(委託事業) の実施報告

今年度、横芝光町よりゲートキーパー養成の委託を受け、3日間講座と2日間のノルディックウォークを実施しました。

講座は、昭和女子大学吉野先生から近年の自殺者の動向とゲートキーパーの心構えについて、ここからクリニック佐多院長からは自殺とメンタルヘルスの関係特に自殺をほのめかす方への言葉かけ等のお話を頂戴しました。最終日は、自殺対策で活用できる社会資源として当法人（中核地域生活支援センターさんネット）から講義をさせていただきました。

また、今年度は新たな講座として実践型ノルディックウォークを取り入れ、座学だけではなく、実際に体を動かすことで心身のリフレッシュになる体験を行いました。コロナ前は、栗山川沿いでノルディックウォークを行う企画もあったようですが、すっかり停滞していたようです。これを機に再開したいという参加者の声もちらほらと聞こえてきました。

ゲートキーパーは「気づき・見守り・つなぐ」役目がありますが、私たち一人ひとりが心身共に健康であることが第1の支援活動と願っています。（赤堀）



新入職員紹介



大橋 瑛（おおはし あきら）：8月1日付けで入職しました。出身は東京ですが就職を機に千葉へ来ました。前職は主に精神障がいをかかえている方の支援に携わっておりました。培った経験を活かしつつ、新たな学びを得ながら皆さんのお力になれたらと思います。

金子 智子（かねこ ともこ）：8/1 に中途入職いたしました人生の折り返しを超えた 51 歳です。今日が一番若いと思えるよう、新しい事にも挑戦し、一日一日を大切に過ごしたいと思います。



法人事務局・山武事業所

- 中核地域生活支援センターさんネット
- さんぶ生活相談センター リンクサポート
(自立相談支援事業・家計改善支援事業)
- 就労準備支援事業 あいリンク
- 障害者グループホーム等支援事業
- よろず相談センター ぬくもり
- 障害者グループホーム ぼんぼら
- 日中一時支援事業 はれはれ
- フードバンクさんぶ その他

〒289-1345 山武市津辺 252-1

TEL：0475-77-7531（さんネット・ぬくもり・ぼんぼら・フードバンクさんぶ）

TEL：0475-77-7532（リンクサポート・あいリンク） FAX：0475-77-7538

